

はっ 服部 とり 廃 寺

— 畿内中央とのつながりを持つ豪族の氏寺 —

服部廃寺は、長船町服部・丸山に所在する古代寺院跡

です。寺域の東側の独立丘陵上には、この地域を代表する花光寺山古墳があり、古墳を造った豪族と寺院を造営した豪族とのつながりが想定されます。

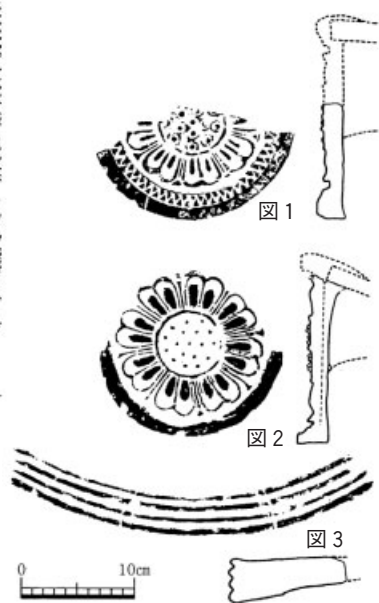
1991年から1996年にかけて発掘調査が行われ、出土した軒丸瓦や軒平瓦などから、7世紀後半ごろに中心伽藍である金堂と講堂がほぼ近い時期に創建されたと考えられています。創建に使われた瓦は、複弁八葉蓮華文軒丸瓦と重孤文軒平瓦で、川原寺式軒瓦(注)と呼ばれるものです。その後、奈良時代ごろに小規模な改修が行われ、12世紀ごろの鎌倉時代初期には、創建時の講堂は本来の機能を失い、基壇(建物の基礎の

土壇)の北東部と南東部に別の建物が再建されているようです。

寺域は東西150m、南北150mまたは200mと推測され、伽藍配置は塔が確認されています。金堂と講堂の配置から、南北に塔—金堂—講堂が並び四天王寺式伽藍配置が想定されています。また、金堂跡の発掘調査で須弥壇(仏像を安置する土壇)が残つ



(上) 服部廃寺伽藍配置 (1/4,000)
(右) 出土軒瓦 (1/6)
図1・2 複弁八葉蓮華文軒丸瓦
図3 重孤文軒平瓦



ていることが確認され、塑像(土で作った仏像)の髻(髪(髪の毛)が出土し、その大きさから座像で2・4mの塑像が、本尊として安置されていたことが分かりました。

服部廃寺は、須恵廃寺とともに岡山県東南部を代表する古代寺院で、その造営

(注) 川原寺式軒瓦

川原寺(奈良県明日香村)で使われていた軒瓦は、壬申の乱(大海人皇子と大友皇子の皇位をめぐる飛鳥時代の争乱)との関係が深いとされています。この戦いで大海人皇子方に味方し功績のあった豪族に、川原寺式の軒瓦を使って寺院の建立が許されたと考えられています。

岡山県では、岡山県東部、北部、西部の寺院跡から出土しており、かつての吉備国の中心部からは出土していません。その後、吉備国は備前、備中、備後に分国されていることから、畿内の勢力が吉備国の中心部を取り囲むように及んでいたことが推定されます。

ホップ・ステップ・ジャンプ

このコーナーは、生涯学習に生き生きと取り組む皆さんを紹介します。皆さんも仲間入りしませんか。

絵の具を重ね合わせ深みを出す 「油絵クラブ」

邑久町公民館で、それぞれのキャンパスに筆を走らせる油絵クラブの皆さん。木炭でキャンパスに、構図を決めてデッサン。静物画を描くとき、くだものはみずみずしさを、金属はその輝きを、布はふわふわとしたその物の質感を書き分けます。絵の具を重ね合わせて出す深みや、色のコントラストが特徴の油絵は、修正がしやすい利点もありますが、色使いが難しくなることも。



一筆一筆丁寧に絵の具を重ねます

「油絵は奥が深く、個性も出やすいから面白いですよ」と話す奥田利勝先生は、クラブの皆さんの絵を見て、アドバイスします。

春には、屋外に写生に行き、絵画の展覧会にも足を運ぶクラブの皆さんの力作は、秋の文化祭に展示・発表します。

- ★活動日時 第1日曜日
午前8時30分～午後1時
- ★活動場所 邑久町公民館
- ★代表 入江光子さん

礼節を重んじる

「牛窓町剣道」 スポーツ少年団

牛窓東小学校体育館から大きな掛け声が聞こえてきます。牛窓町剣道スポーツ少年団の団員13人は、足さばき、素振り、基本げいこなど、基本を中心とした練習に汗を流します。また、掛けげいこ、試合を想定した練習で、各自それぞれの技に磨きをかける団員たち。団の中でライバルもいて、お互いに刺激し合いながら技術の向上に励みます。団のモットーは「礼節を重んじる」。「剣道は礼に始



みんな元気で仲良し!

まあって、礼に終わる。あいさつ、礼儀作法を大切にしている、思いやりのある人間になってほしい」と指導者の塩田正則さん。

11月の瀬戸内市青少年剣道大会に向けて、みんな気合十分! 常に大きな声を出し、一生懸命に練習に取り組む姿がありました。

進級お祝い会やヨット教室などの楽しい行事もある同団では、ただ今、団員募集中。礼儀も身に付く剣道と一緒にしてみませんか?

- ★活動日時 火・金曜日
午後7～9時
- ★活動場所 牛窓東小学校体育館
- ★会費 月500円
- ★連絡先 塩田正則さん
0869-3412208



毎月クラブの時間を楽しみにしている油絵クラブの皆さん



激しい攻防となる試合げいこ